

# 第2回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会

## 「産婦人科診療のゲノム個別化を展望する」 Precision Medicine in Obstetrics and Gynecology

会期：平成28（2016）年12月16日（金）～17日（土）

会場：メルパルク京都

〒600-8216 京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13

TEL：075-352-7444

会長：小西 郁生（国立病院機構京都医療センター院長）

理事会・社員総会 日時：12月16日（金）8：00～8：50

会場：メルパルク京都 6階 会議室3

情報交換会 日時：12月16日（金）18：30～20：30

会場：メルパルク京都 7階 スタジオ1

運営事務局：一般社団法人日本産科婦人科遺伝診療学会 事務局

（株式会社MA コンベンションコンサルティング内）

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402

TEL：03-5275-1191

### 会長挨拶

みなさま、こんにちは！

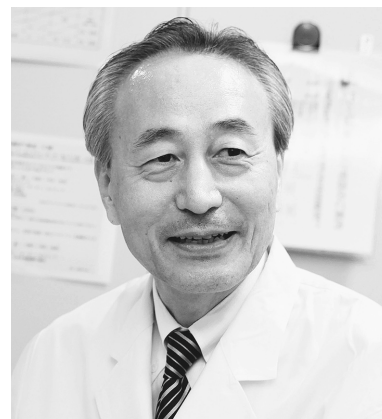
本年もいよいよ押し詰まってまいりましたが、この時期に京都までお越しいただき、誠にありがとうございます。昨年設立されました日本産科婦人科遺伝診療学会の第2回学術講演会を開催させていただきますこと、とても光栄に存じます。

今や、医学・医療は「ゲノムの時代」に突入しています。すなわち、次世代シーケンスや包括的遺伝子発現解析など詳細なゲノム解析によって、患者さん毎の「疾患のゲノム個性」を明らかにし、それに基づく個別化医療を行おうという Precision Medicine の流れです。これは、私たちが目指すべき最高の治療であると確信いたします。この中に、出生前遺伝学的検査や BRCA 遺伝子解析などの狭義の遺伝医療も含まれております。

産婦人科は、この流れをいち早く捉えて医学・医療の最前線に立つことで、患者さんの疾病の治療・予防と健康の向上に寄与するとともに、医学生・研修医に産婦人科の魅力をアピールしなければなりません。そこで、今回は、わが国における「ゲノム医療」の全体の流れを俯瞰しながら、産婦人科領域のゲノム医学・医療を広く取り上げ、その最新情報を満載した学術講演会にしたいと考えています。

みなさまには、是非とも活発なご議論をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第2回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会  
会長 小西 郁生（国立病院機構京都医療センター院長）



# 参加者の方へ

## 参加者の方へ

### 1. 参加受付

12月16日（金）8：00～18：00，12月17日（土）7：30～17：00

### 2. 参加費

#### 学術講演会参加費

会員：15,000円，非会員：20,000円，コメディカル：5,000円

ロールプレイ参加費（事前登録制．ご登録いただいていない方で当日ご参加希望の方は空き状況について受付におたずねください）

会員：5,000円，非会員：8,000円，コメディカル：3,000円

### 3. 参加章の再発行はいたしませんので，ご了承ください．

### 4. 学部学生，初期研修医の参加費は無料です．総合受付にお申し出ください．研修身分証明書，学生証を提示ください．

### 5. 学会誌/プログラム・抄録集は，会員の皆様には事前に送付いたします．別途ご購入は，1冊：2,000円です．

### 6. プログラム・抄録集のご所属表記については，一部修正，省略させていただいておりますので，あらかじめご了承ください．

### 7. 入会申込について

総合受付内事務局デスクにてご入会も承ります．年会費10,000円．お支払は現金のみ取扱となります．

### 8. 研修証明について



①日本産科婦人科学会専門医出席証明は，研修シール（10単位）の発行に代わり，「e医学学会カード」により専門医出席証明を行いますので，会員の皆様は「e医学学会カード」をご持参ください．

②日本産婦人科医会の研修参加証明書は，従来通りシールを発行いたしますので，受付にて記名後お受け取りください．※後日の再発行はできません．

③認定遺伝カウンセラー制度8単位が付与されます．

④臨床遺伝専門医更新単位（5単位）が付与されます．

※ロールプレイ研修会参加者は，暫定制度で取得した臨床遺伝専門医の更新時に必要なロールプレイ1回分が取得可能です．

⑤日本専門医機構認定講習会については，次頁の一覧をご確認ください．

⑥学術講演会とロールプレイ研修会の両方を参加することで，日本産科婦人科学会「生殖医療に関する遺伝カウンセリング受入れ可能な臨床遺伝専門医」講習会として認定され，資格申請ができます．

### 9. 日本専門医機構の認定講習一覧

日本専門医機構が認めるプログラムは，下記の通りです．

各講演・講習会は，予約制ではありませんので，当日，直接会場へお越しください．参加受付はすべてe医学学会カードにて，講習開始の10分前，または講演後に行います．10分以上遅れて会場入口に到着された場合や講演途中で退室された場合は，機構専門医単位付与はされませんので予めご了承ください．

なお，産婦人科以外の診療科で，e医学学会カードをお持ちでない方は受講証をお渡ししますので，各会場の受付にお申し出ください．

<b>専門医共通講習 (医療倫理講習会)</b>  入室時受付 (12:50頃から)	教育講演1・2 「ヒトゲノム解析の臨床応用とその倫理的問題点」吉田雅幸 「ゲノム解析技術とコモーションリズムの問題点」高田史男  12月16日(金)13:00~14:00 第1会場(会議室C・D)
<b>産婦人科領域講習</b>  退室時受付 (17:00頃まで)	教育シンポジウム1『遺伝性乳がん卵巣がん診療体制の確立を目指して(HBOC)』 「わが国における HBOC 診療制度機構設立の経緯」高田史男 「HBOC 診療の実際:乳腺外科医として」中村清吾 「HBOC 診療の実際:婦人科腫瘍医として」青木大輔 「HBOC 診療の実際:がんの臨床遺伝専門医として」新井正美  12月16日(金)14:50~16:50 第1会場(会議室C・D)
<b>産婦人科領域講習</b> 退室時受付 (18:10頃まで)	イブニングセミナー『がんのゲノム情報と新たな免疫療法の時代』西川博嘉  12月16日(金)17:00~18:00 第1会場(会議室C・D)
<b>産婦人科領域講習</b>  入室時受付 (8:50頃から)	特別講演 「着床前胚スクリーニング—わが国の現状と世界の動向—」竹下俊行 招請講演 「ゲノム医療の日常診療への展開—最近のわが国の施策の現状—」藤原康弘 教育講演 「胎児期の環境と epigenetics—DOHaD 学説の視点から」伊東宏晃  12月17日(土)9:00~10:30 第1会場(会議室C・D)
<b>産婦人科領域講習</b>  入室時受付 (10:30頃から)	教育シンポジウム2『出生前診断と診療支援体制の現状と将来展望』 「厚労省班研究立ち上げの経緯と進捗状況」山田重人 「わが国における出生前診断の実態把握」久具宏司 「出生前診断の診療レベル向上を目指して」山田崇弘 「当事者・相談者への支援体制構築に向けて—ダウン症候群をもつ家族と本人へのアンケート調査から見えてくるもの」斎藤加代子  12月17日(土)10:40~12:30 第1会場(会議室C・D)

## 演者の方へ

### 1. 発表方法に関しまして

- (1) 発表形式はPC発表です。  
スライドやビデオは使用できませんので、ご注意ください。
- (2) 会場へは、1. USBメモリ, 2. CD-R, 3. パソコン本体, 以上1~3のうち、いずれかの形で発表データをお持ち込みください。
- (3) 講演開始30分前までにPC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。  
PC持ち込みの方も、30分前までにPC受付へお越しください。
- (4) 「発表者ツール」機能は使用できません。
- (5) PC受付のパソコンは台数が限られております。  
受付パソコンを独占しての長時間のデータ修正はご遠慮願います。  
学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから学会場へお越しください。

### 2. USBメモリ, またはCD-R (RW不可) をお持ち込みの方への注意事項

- (1) ソフトは、以下のものをご使用ください。

Windows 版 PowerPoint 2007/2010/2013 (Win7)

※Macintosh をご使用の方は、PC をお持ち込みください。

※iPad 等タブレット PC は使用できません。

※動画ファイルをご使用の方は、PC をお持ち込みください。

- (2) フォントは OS 標準のもののみご使用ください。
- (3) 会場スピーカーに音声は流せません。
- (4) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。
- (5) CD-R (RW 不可) への書き込みは、ISO 9660 方式をお使いください。  
※パッケージ方式ですと、会場 PC で読み込めない恐れがあります。

3. ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして、必ずメディアもご持参ください。
- (2) 会場スピーカーに音声は流せません。
- (3) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。
- (4) PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。  
※PC の機種や OS によって、出力設定方法が異なります。
- (5) プロジェクターとの接続ケーブル端子は、D-sub15 ピンです。  
PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。

※特に VAIO, MacBook 等小型 PC は、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

- (6) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除ください。

4. 発表時間および質疑応答時間

発表時間質疑応答時間

一般演題	発表 5分, 質疑 2分 (合計 7分)
------	----------------------

5. 演題発表時の利益相反状態開示方法について

学術集会における演題発表時の利益相反状態開示方法は以下の通りとします。

- (1) 開示しなくてはならない筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示しなくてはなりません。

- (2) 口演発表における開示方法

演題名・演者名・所属のスライドの次のスライド (第2スライド) に、以下に示すひな形に準じたスライドを呈示した上で、利益相反状態の有無を述べてください。

演題名・演者名・所属のスライドがない場合は、このスライドが第1スライドとしてください。

<p>日本産科婦人科遺伝診療学会</p> <p><b>利益相反状態の開示</b></p> <p>筆頭演者氏名: ○○ ○○ 所属: △△△△ 産婦人科</p>
<p>私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。</p> <p>役員・顧問職/寄付講座所属    <input checked="" type="checkbox"/> 製薬株式会社 講演料など                                <input type="checkbox"/> 製薬株式会社 研究費/奨学寄付金                        株式会社 × × ファーマ</p>

<p>日本産科婦人科遺伝診療学会</p> <p><b>利益相反状態の開示</b></p> <p>筆頭演者氏名: ○○ ○○ 所属: △△△△ 産婦人科</p>
<p>私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。</p>

※上記のひな形 (PowerPoint) は日本産科婦人科遺伝診療学会ホームページ (<http://jsgog.kenkyuukai.jp/special/?id=17032>) からダウンロードできます。

※開示すべき利益相反状態は、本抄録集に掲載される抄録 (もしくは講演要旨) 提出前 1 年間に適応されます。

## 座長の方へ

1. セッションの開始 15 分前までに次座長席にご着席ください。
2. セッションの進行は座長に一任いたしますが、定刻のプログラム進行にご協力ください。

## その他

・撮影・録音について

講演会場内での撮影・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止となります。  
ご協力いただきますようお願いいたします。

# 会場への交通

## ■会場：メルパルク京都

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13

TEL：075-352-7444 FAX：075-352-7390

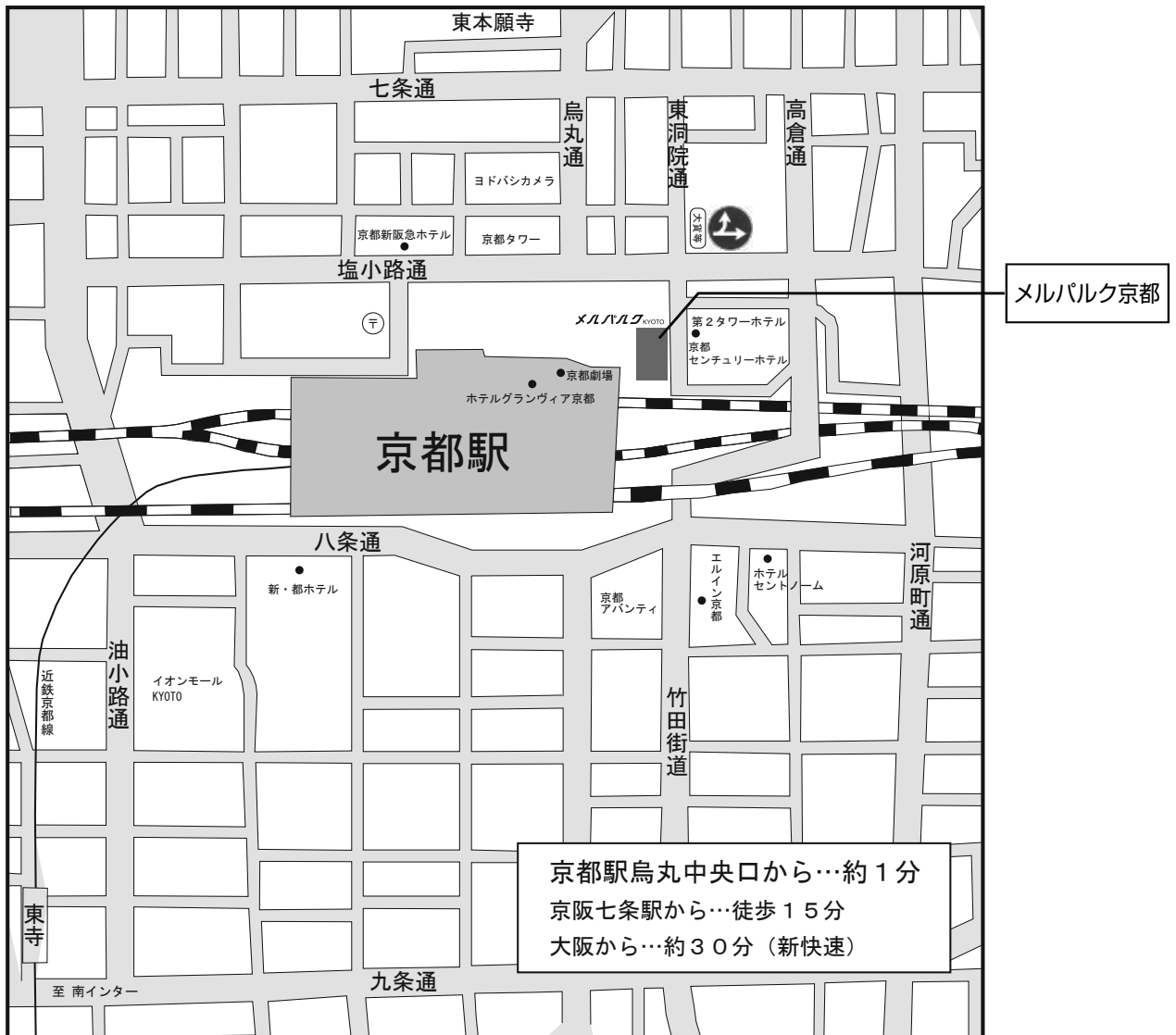
## ■交通のご案内

＜公共の交通機関をご利用の場合＞

- ・JR京都駅（烏丸中央口）から東へ約1分

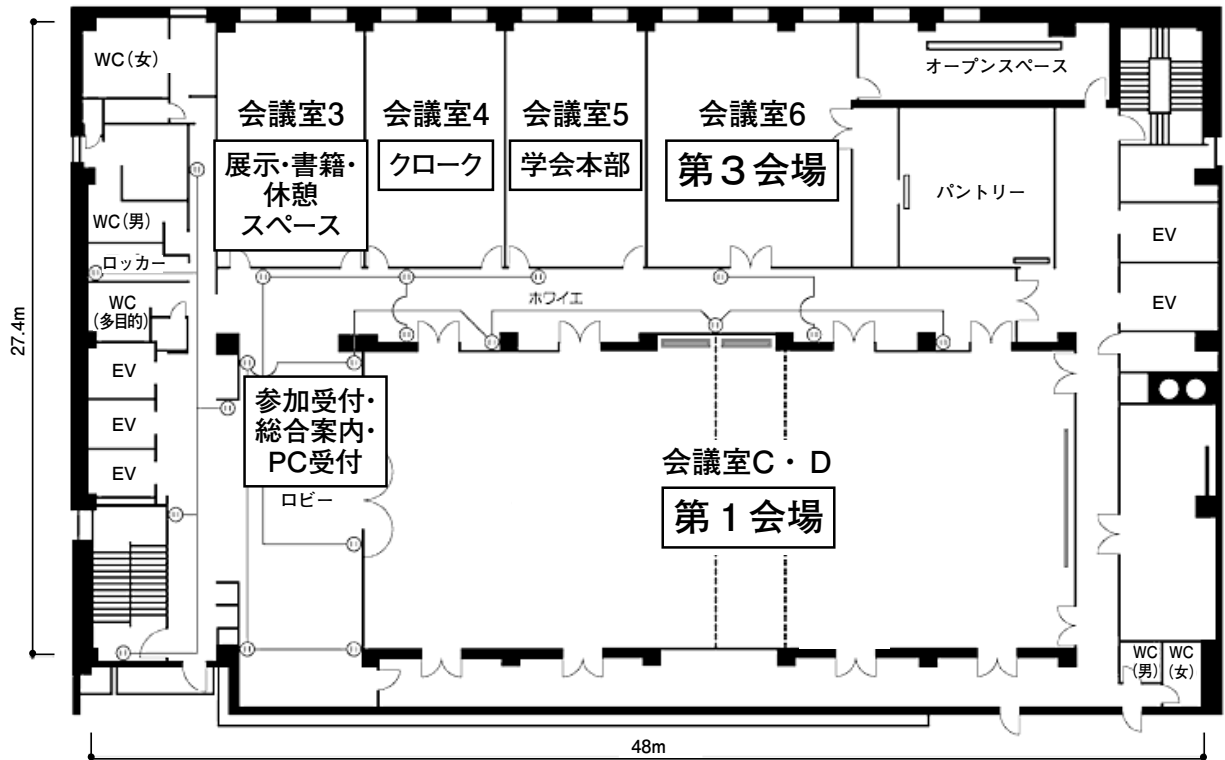
＜お車をご利用の場合＞

- ・名神高速道路京都南インターより国道1号線経由で約10分
- ・\*会場の駐車場は有料となります。

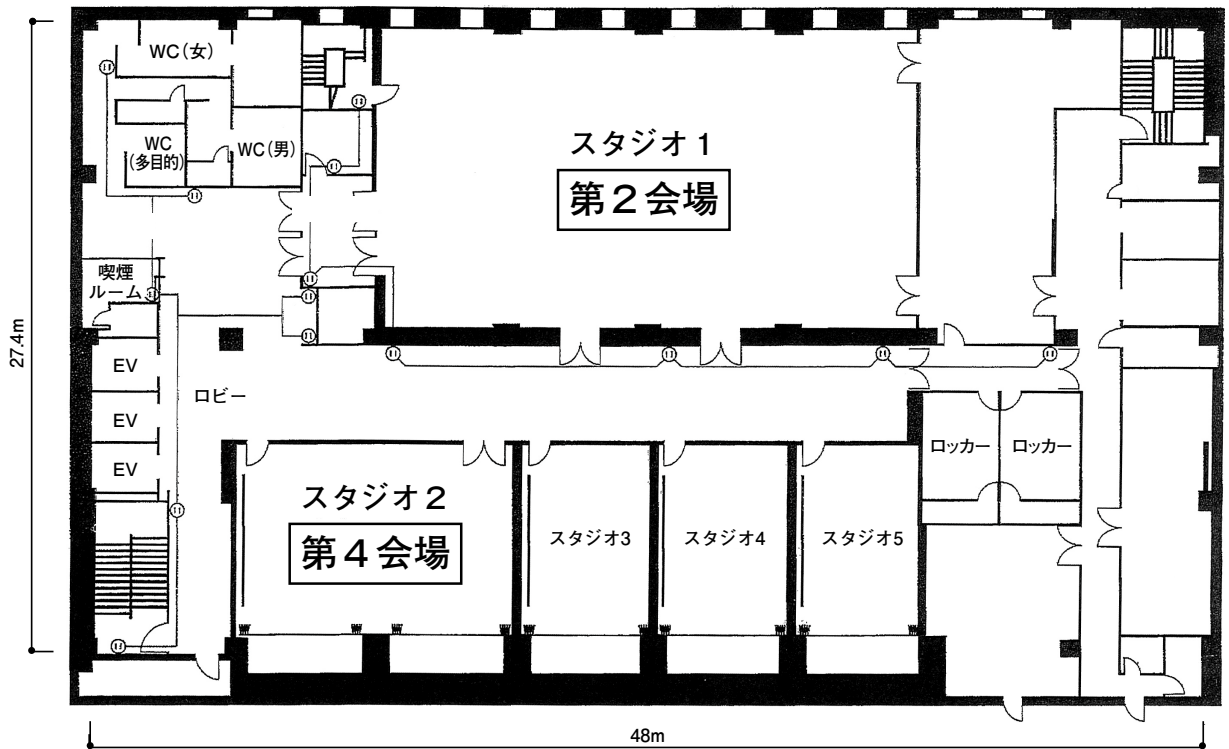


# 会場案内図

## ■6F



## ■7F



# 日 程 表

## 12月16日(金)

メルパルク京都

	第1会場 会議室C・D (6F)	第2会場 スタジオ1 (7F)	展示・休憩室 会議室3 (6F)
8:00			8:00~8:50 理事会・社員総会
9:00		8:50~9:00 開会式 9:00~12:00	
10:00		遺伝カウンセリングロールプレイ認定講習会 領域担当 1) 周産期 : 三宅秀彦 2) 婦人科腫瘍 : 平沢 晃 3) 生殖・不妊 : 鈴森伸宏 総括担当 澤井英明	
11:00			
12:00	12:00~12:50 ランチョンセミナー 1 『卵巢がんのゲノム解析と分子標的治療の将来』 座長：万代昌紀 演者：織田克利 共催：中外製薬(株)	12:00~12:50 ランチョンセミナー 2 『FETAL SONOGENETICS—最先端超音波で胎児のゲノムと病態にどこまで迫れるか?—』 座長：増崎英明 演者：夫 律子 共催：GEヘルスケア・ジャパン(株)	
13:00	13:00~13:30 教育講演 1 『ヒトゲノム解析の臨床応用とその倫理的問題点』 座長：奇原 稔 演者：吉田雅幸		
	13:30~14:00 教育講演 2 『ゲノム解析技術とコマーシャリズムの問題点』 座長：平原史樹 演者：高田史男		
14:00	14:10~14:50 スポンサーードセミナー 『遺伝性乳がん卵巣がん診療への挑戦—英国での取り組みも含めて』 座長：中村清吾 演者：榎本隆之 共催：アストラゼネカ(株)		
15:00	14:50~16:50 教育シンポジウム 1 『遺伝性乳がん卵巣がん診療体制の確立を目指して (HBOC)』 座長：戸井雅和 小林 浩 演者：高田史男 中村清吾 青木大輔 新井正美		
17:00	17:00~18:00 イブニングセミナー 『がんのゲノム情報と新たな免疫療法の時代』 座長：杉山 徹 演者：西川博嘉 共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ(株)		
18:00		18:30~20:30 情報交換会	



# 12月17日(土)

メルパルク京都

	第1会場 会議室C・D (6F)	第2会場 スタジオ1 (7F)	第3会場 会議室6 (6F)	第4会場 スタジオ2 (7F)
8:00				
8:20~9:00	モーニングセミナー 『胚発生とゲノム：最新の知見』 座長：吉村泰典 演者：斎藤通紀 共催：武田薬品工業(株)			
9:00	9:00~9:30 特別講演 『着床前胚スクリーニング-わが国の現状と世界の動向-』 座長：杉浦真弓 演者：竹下俊行			
9:30~10:00	9:30~10:00 招請講演 『ゲノム医療の日常診療への展開-最近のわが国の施策の現状-』 座長：木村 正 演者：藤原康弘			
10:00	10:00~10:30 教育講演 3 『胎児期の環境と epigenetics -DOHaD 学説の視点から』 座長：佐川典正 演者：伊東宏晃			
10:40~12:30	11:00 教育シンポジウム 2 『出生前診断と診療支援体制の 現状と将来展望』 座長：小西郁生 福嶋義光 演者：山田重人 久具宏司 山田崇弘 斎藤加代子			
12:30~13:20	12:30~13:20 ランチョンセミナー 3 『胎児ゲノム解析の最新情報と 胎内治療の展望』 座長：福嶋義光 演者：井本逸勢 共催：GeneTech(株)	12:30~13:20 ランチョンセミナー 4 『子宮頸がんリスク因子としての HPV ゲノム変異』 座長：青木大輔 演者：松本光司 共催：MSD(株)		
13:30~14:12	13:30~14:12 一般演題 1 周産期・カウンセリングと意思決定 座長：三宅秀彦	13:30~14:12 一般演題 6 周産期・児の先天異常 座長：浜之上はるか	13:30~14:12 一般演題 11 周産期・基礎 座長：近藤英治	13:30~14:12 一般演題 15 腫瘍・基礎 座長：平沢 晃
14:12~14:54	14:12~14:54 一般演題 2 周産期・羊水 座長：澤井英明	14:12~14:54 一般演題 7 周産期・母体合併症 座長：佐村 修	14:12~14:54 一般演題 12 生殖・女性医学・カウンセリング 座長：桑原 章	14:12~14:47 一般演題 16 腫瘍・女性医学・症例報告 座長：植木有紗
14:54~15:36	14:54~15:36 一般演題 3 周産期・出生前診断体制 座長：山田重人	14:54~15:36 一般演題 8 周産期・染色体異常 (1) 座長：佐々木愛子	14:54~15:36 一般演題 13 生殖・PGD/PGS 座長：竹下直樹	14:47~15:29 一般演題 17 腫瘍・カウンセリング 座長：四元淳子
15:36~16:11	15:36~16:11 一般演題 4 周産期・NT 座長：近藤朱音	15:36~16:18 一般演題 9 周産期・染色体異常 (2) 座長：池田敏郎	15:36~16:18 一般演題 14 生殖・基礎 座長：堀江昭史	15:29~16:04 一般演題 18 腫瘍・HBOC 座長：馬場 長
16:11~16:53	16:11~16:53 一般演題 5 周産期・NIPT 座長：三浦清徳	16:18~16:53 一般演題 10 周産期・骨系統疾患 座長：山田崇弘		
17:00				
18:00				

# 第2回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会

## プログラム

特別講演

招請講演

教育講演

教育シンポジウム

一般演題

## プログラム

遺伝カウンセリングロールプレイ認定講習会

12月16日(金) 9:00~12:00

第2会場 スタジオ1

領域担当

- 1) 周産期：三宅 秀彦 (京都大学医学部附属病院遺伝子診療部)
- 2) 婦人科腫瘍：平沢 晃 (慶應義塾大学産婦人科)
- 3) 生殖・不妊：鈴木 伸宏 (名古屋市立大学産科婦人科)

総括担当

澤井 英明 (兵庫医科大学産科婦人科)

ランチセミナー1

12月16日(金) 12:00~12:50

第1会場 会議室C・D

卵巣がんのゲノム解析と分子標的治療の将来

座長：万代 昌紀 (近畿大学産科婦人科学)

織田 克利 (東京大学産科婦人科学)

共催：中外製薬株式会社

ランチセミナー2

12月16日(金) 12:00~12:50

第2会場 スタジオ1

FETAL SONOGENETICS—最先端超音波で胎児のゲノムと病態にどこまで迫れるか？—

座長：増崎 英明 (長崎大学産科婦人科学)

夫 律子 (クリフム夫律子マタニティクリニック)

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

教育講演1

12月16日(金) 13:00~13:30

第1会場 会議室C・D

ヒトゲノム解析の臨床応用とその倫理的問題点

座長：苛原 稔 (徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野)

吉田 雅幸 (東京医科歯科大学医学部遺伝子診療科・生命倫理研究センター)

教育講演 2

12月16日(金) 13:30~14:00

第1会場 会議室C・D

ゲノム解析技術とコマーシャリズムの問題点

座長：平原 史樹 (国立病院機構横浜医療センター)

高田 史男 (北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学)

スポンサードセミナー

12月16日(金) 14:10~14:50

第1会場 会議室C・D

遺伝性乳がん卵巣がん診療への挑戦—英国での取り組みも含めて

座長：中村 清吾 (昭和大学乳腺外科学)

榎本 隆之 (新潟大学産科婦人科学)

共催：アストラゼネカ株式会社

教育シンポジウム 1

12月16日(金) 14:50~16:50

第1会場 会議室C・D

遺伝性乳がん卵巣がん診療体制の確立を目指して (HBOC)

座長：戸井 雅和 (京都大学大学院医学研究科外科学講座乳腺外科)

小林 浩 (奈良県立医科大学産婦人科学)

- 1 わが国における HBOC 診療制度機構設立の経緯  
高田 史男 (北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学)
- 2 HBOC 診療の実際：乳腺外科医として  
中村 清吾 (昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門)
- 3 HBOC 診療の実際：婦人科腫瘍医として  
青木 大輔 (慶應義塾大学産婦人科)
- 4 HBOC 診療の実際：がんの臨床遺伝専門医として  
新井 正美 (がん研有明病院遺伝子診療部)

イブニングセミナー

12月16日(金) 17:00~18:00

第1会場 会議室C・D

がんのゲノム情報と新たな免疫療法の時代

座長：杉山 徹 (岩手医科大学産科婦人科学)

西川 博嘉 (名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞免疫学/国立がん研  
究センター先端医療開発センター免疫 TR 分野)

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

モーニングセミナー

12月17日(土) 8:20~9:00

第1会場 会議室C・D

胚発生とゲノム：最新の知見

座長：吉村 恭典（慶應義塾大学名誉教授）

斎藤 通紀（京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座機能微細形態学）

共催：武田薬品工業株式会社

特別講演

12月17日(土) 9:00~9:30

第1会場 会議室C・D

着床前胚スクリーニング—わが国の現状と世界の動向—

座長：杉浦 真弓（名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科）

竹下 俊行（日本医科大学産婦人科）

招請講演

12月17日(土) 9:30~10:00

第1会場 会議室C・D

ゲノム医療の日常診療への展開—最近のわが国の施策の現状—

座長：木村 正（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学）

藤原 康弘（国立がん研究センター企画戦略局長／国立がん研究センター中央病院副院長（研究担当））

教育講演3

12月17日(土) 10:00~10:30

第1会場 会議室C・D

胎児期の環境と epigenetics—DOHaD 学説の視点から

座長：佐川 典正（音羽病院総合女性医学健康センター）

伊東 宏晃（浜松医科大学附属病院周産母子センター）

教育シンポジウム 2

12月17日(土) 10:40~12:30

第1会場 会議室C・D

出生前診断と診療支援体制の現状と将来展望

座長：小西 郁生（国立病院機構京都医療センター）  
福嶋 義光（信州大学遺伝医学・予防医学）

- 1 厚労省班研究立ち上げの経緯と進捗状況  
山田 重人（京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター）
- 2 わが国における出生前診断の実態把握  
久具 宏司（東京都立墨東病院産婦人科）
- 3 出生前診断の診療レベル向上を目指して  
山田 崇弘（北海道大学大学院医学研究科総合女性医療システム学講座）
- 4 当事者・相談者への支援体制構築に向けて一ダウン症候群をもつ家族と本人へのアンケート調査から見えてくるもの  
斎藤加代子（東京女子医科大学附属遺伝子医療センター）

ランチョンセミナー 3

12月17日(土) 12:30~13:20

第1会場 会議室C・D

胎児ゲノム解析の最新情報と胎内治療の展望

座長：福嶋 義光（信州大学遺伝医学・予防医学）

井本 逸勢（徳島大学大学院医歯薬学研究部人類遺伝学）

共催：GeneTech 株式会社

ランチョンセミナー 4

12月17日(土) 12:30~13:20

第2会場 スタジオ1

子宮頸がんリスク因子としてのHPVゲノム変異

座長：青木 大輔（慶應義塾大学産科婦人科学）

松本 光司（昭和大学産科婦人科学）

共催：MSD 株式会社

一般演題 1

12月17日(土) 13:30~14:12

第1会場 会議室C・D

周産期・カウンセリングと意思決定

座長：三宅 秀彦（京都大学医学部附属病院遺伝子診療部）

- 1 遺伝カウンセリング体制が不十分な地域周産母子医療センターにおける出生前検査の苦悩  
石丸 美保（独立行政法人国立病院機構金沢医療センター産婦人科）
- 2 出生前染色体検査を考慮し来談するクライアントの背景の検討：NIPT 導入前後の比較  
柴田 有花（北海道大学病院臨床遺伝子診療部）
- 3 胎児染色体異常例における妊娠帰結に影響を及ぼす因子の検討  
西山 深雪（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター）
- 4 胎児の遺伝学的異常の再発が疑われる症例の妊娠管理  
田中 教文（広島大学産科婦人科）
- 5 胎児染色体数的異常症スクリーニング検査受診妊婦の背景についての検討  
永井 立平（高知医療センター産科）
- 6 先天代謝異常症の出生前診断に係わる意志決定についての検討  
岩越 裕（熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学）

一般演題 2

12月17日(土) 14:12~14:54

第1会場 会議室C・D

周産期・羊水

座長：澤井 英明（兵庫医科大学産科婦人科）

- 7 当科で実施した羊水染色体検査の結果と転帰に関する報告  
村上 優美（兵庫医科大学産婦人科）
- 8 最近5年間の当院における羊水検査症例の推移  
高本 真弥（国立国際医療研究センター産婦人科）
- 9 羊水検査の安全性について—当院における羊水検査15年間4436例のまとめ—  
中村 博昭（大阪市立総合医療センター遺伝子診療部）
- 10 当院における出生前染色体検査の現状  
上田英梨子（山王バースセンター）
- 11 当院における羊水染色体検査の検討  
安尾 忠浩（京都府立医科大学産婦人科）



12 当院における羊水染色体検査症例の検討

玉置 優子 (東邦大学医療センター大森病院産婦人科/東邦大学医療センター大森病院臨床遺伝)

一般演題 3

12月17日(土) 14:54~15:36

第1会場 会議室C・D

周産期・出生前診断体制

座長：山田 重人 (京都大学医学部附属病院遺伝子診療部)

13 日本における出生前診断の現状 1998-2014

佐々木愛子 (国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター)

14 診療情報提供書への自動家系図作成ソフト導入について

沼田 早苗 (岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構イノベーション推進・人材育成部門)

15 超音波診断をどこまで伝えるか Binder 症候群が疑われた一例

近藤 朱音 (独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター)

16 NIPT 受検者における出生前診断情報提供に対する意識調査

松本真理子 (京都第一赤十字病院)

17 当院における無侵襲的出生前遺伝学的検査 (NIPT) の現況

生野 寿史 (新潟大学医歯学総合病院産科婦人科)

18 九州医療センターにおける3年間のNIPT

鹿田佐和子 (国立病院機構九州医療センター)

一般演題 4

12月17日(土) 15:36~16:11

第1会場 会議室C・D

周産期・NT

座長：近藤 朱音 (国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター周産期科)

19 当院の First trimester screening (FTS) 検査の現状

青木 由樹 (Ladies&Maternity Clinic SANTA CRUZ)

20 出生前診断外来における胎児精密超音波検査と NIPT の意義について

篠塚 憲男 (瀬戸病院産婦人科・遺伝診療科/胎児医学研究所)

21 NT を中心とした 1,555 例の妊娠初期胎児超音波検査の検討

藤田 太輔 (大阪医科大学産婦人科)

22 NT 肥厚などを契機に出生前診断でターナー症候群が判明した 8 例の状況  
田村智英子 (FMC 東京クリニック)

23 First trimester screening で陽性後に確定検査を受けない意思決定に関する後方視的検討  
佐藤 智佳 (関西医科大学病態検査学/関西医科大学産科学婦人科学)

一般演題 5

12月17日(土) 16:11~16:53

第1会場 会議室C・D

周産期・NIPT

座長：三浦 清徳 (長崎大学医学部附属病院産婦人科)

24 NIPT 判定保留の結果であった後腹膜腫瘍の一例  
宮上 景子 (昭和大学産婦人科学教室)

25 NIPT 判定保留例についての考察—自験例を通して—  
宇津野恵美 (千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部/千葉大学医学附属病院周産期母性科/千葉県こども病院地域連携室)

26 NIPT による胎児の性別判定と X 連鎖劣性遺伝性疾患への臨床応用  
野田 佳照 (藤田保健衛生大学産婦人科/藤田保健衛生大学分子遺伝学)

27 NIPT で 18 トリソミー偽陽性であった 1 例  
市塚 清健 (昭和大学横浜市北部病院産婦人科)

28 NIPT の遺伝カウンセリング後にクアトロ検査を受け、後に trisomy21 が判明した 1 症例  
讃井 裕美 (山口県立総合医療センター)

29 NIPT 検査にて母親由来の Trisomy8 mosaic が疑われた 1 例  
須郷 慶信 (横浜市立大学病院産婦人科)

一般演題 6

12月17日(土) 13:30~14:12

第2会場 スタジオ1

周産期・児の先天異常

座長：浜之上はるか (横浜市立大学附属病院遺伝子診療部)

30 妊娠 16 週に頭部異常所見を契機に診断された Meckel-Gruber 症候群の 1 例  
堤 誠司 (山形大学医学部附属病院産科婦人科)

31 胎児貧血を契機に出生前診断した腹腔外臍帯静脈瘤の 1 例  
川口 雄亮 (京都大学医学部附属病院産科婦人科)

32 出生前診断を行った糖原病 Ib 型の一例  
知念 行子 (琉球大学医学部附属病院産婦人科)

- 33 胎動減少を認めなかった乳児重症型ミオチューブラーミオパチーの1例  
中村 充宏 (京都大学医学部附属病院産科婦人科)
- 34 新生児死亡を繰り返した後、健常児を得た restrictive dermopathy の一例  
岡田 愛子 (大阪大学産科婦人科)
- 35 羊水過多症を繰り返して疑った遺伝性胎児筋疾患の1症例  
鈴木 佳克 (愛知医科大学産婦人科, 新生児科)

<b>一般演題 7</b>	<b>12月17日 (土) 14:12~14:54</b>
第2会場 スタジオ1	

**周産期・母体合併症**

座長：佐村 修 (東京慈恵会医科大学産婦人科)

- 36 先天性低フィブリノゲン血症合併双胎妊娠管理の経験  
酒本 あい (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学教室)
- 37 羊水過多を呈した妊婦に対し、問診を契機に筋強直性ジストロフィーと診断した3症例  
飯藤 弘光 (福井大学産科婦人科)
- 38 常位胎盤早期剥離を契機として判明した先天性低フィブリノーゲン血症の1例  
池上 信夫 (高知大学医学部産婦人科)
- 39 妊娠初期より重症高血圧を呈した MEN1 型合併妊娠  
森山 佳則 (名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学)
- 40 当院における自己免疫疾患合併妊娠における NIPT (無侵襲的出生前遺伝学的検査) 結果  
田中 宏幸 (兵庫医科大学産科婦人科学講座/兵庫医科大学臨床遺伝部)
- 41 遺伝性出血性毛細血管拡張症合併妊娠の3例の検討  
山口 宗影 (熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学)

<b>一般演題 8</b>	<b>12月17日 (土) 14:54~15:36</b>
第2会場 スタジオ1	

**周産期・染色体異常 (1)**

座長：佐々木愛子 (国立成育医療研究センター・周産期・母性診療センター)

- 42 妊娠中に胎児染色体検査等施行せず、出生後21トリソミーが判明した7症例の検討  
石岡 伸一 (札幌医科大学産科周産期科)
- 43 羊水検査の結果が20番染色体モザイクであった症例の遺伝カウンセリング  
山口 昌俊 (宮崎大学医学部附属病院産婦人科/宮崎大学医学部附属病院産婦人科遺伝カウンセリング部)

- 44 母体血中 cfDNA の解析で 22 トリソミー胎盤性モザイクを疑った重度の胎児発育不全の 1 例  
和泉美希子 (昭和大学病院臨床遺伝医療センター／昭和大学医学部産婦人科学講座)
- 45 妊娠 18 週に胎児スクリーニング超音波を契機に診断に至った標準型 Trisomy22 の一例  
山下 有加 (昭和大学藤が丘病院産婦人科)
- 46 胎児水腫を来した 21trisomy 症例の管理方針について苦慮した 1 例  
金野 潤 (東京女子科大学病院)
- 47 Pallister-Killian 症候群の一例  
宮下 進 (獨協医科大学総合周産期母子医療センター産科部門／獨協医科大学臨床遺伝診療室)

一般演題 9 12 月 17 日 (土) 15 : 36 ~ 16 : 18  
第 2 会場 スタジオ 1

周産期・染色体異常 (2)

座長：池田 敏郎 (鹿児島大学病院遺伝カウンセリング室)

- 48 非侵襲的出生前遺伝学的検査前の遺伝カウンセリングから染色体転座保因が判明した 1 例  
井上 桃子 (東京慈恵会医科大学産婦人科学講座)
- 49 羊水染色体検査結果が 46,XX,inv (9)(p12q13) で生後児に異常を認めなかった 1 例  
田口 彰則 (帝京大学医学部附属病院産婦人科)
- 50 胎児機能不全により早産となった X 染色体長腕 Duplication の一例  
東 裕福 (日本大学医学部産婦人科)
- 51 21 トリソミーに類似した超音波像を呈した 8 番染色体短腕端部欠失の一症例  
峯川 亮子 (ベルランド総合病院産婦人科)
- 52 絨毛マイクロアレイを施行した 13q 欠失症候群の 1 症例  
伊藤由美子 (名古屋大学産婦人科)
- 53 Split-hand/foot malformation (dup 17p13.3) に下部尿路閉鎖および鎖肛を合併した 1 例  
梶本恵津子 (大阪大学医学部附属病院産婦人科)

一般演題 10 12 月 17 日 (土) 16 : 18 ~ 16 : 53  
第 2 会場 スタジオ 1

周産期・骨系統疾患

座長：山田 崇弘 (北海道大学大学院医学研究科総合女性医療システム学講座)

- 54 予後の異なる胎児骨系統疾患の 2 例  
原田 崇 (鳥取大学女性診療科)

- 55

四肢短縮を示す異なる疾患が同胞発生した例  
福田奈尾子（東京都立墨東病院産婦人科）
- 56

酵素補充療法を行った周産期型低ホスファターゼ症の1例  
犬塚 早紀（名古屋市立大学産科婦人科）
- 57

周産期軽症型低ホスファターゼ症に対して酵素補充療法を施行した1例  
中村紀友喜（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター胎児診療科）
- 58

当院で経験した胎児骨系統疾患12例の診断  
藁谷深洋子（京都府立医科大学産婦人科）

<b>一般演題 11</b>	<b>12月17日（土） 13:30~14:12</b>
<b>第3会場 会議室6</b>	

**周産期・基礎**

**座長：近藤 英治（京都大学医学部附属病院産科婦人科）**

- 59

出生前画像解析による胎児大脳皮質の発達  
小山 理恵（岩手医科大学産婦人科学講座）
- 60

常位胎盤早期剥離を発症した母体血漿中 microRNA の同定  
長谷川ゆり（長崎大学産婦人科）
- 61

胎盤由来間葉系幹細胞における胎盤特異的 micro RNA の発現解析  
淵 直樹（長崎大学医学部産婦人科／長崎大学原爆後障害医療研究所幹細胞生物学研究分野）
- 62

間葉性異形成胎盤（placental mesenchy dysplasia : PMD）の1例  
佐々木 泉（東邦大学医療センター佐倉病院産婦人科）
- 63

FGFR3 遺伝子異常症に対する母体血による出生前遺伝子検査の検討  
寺澤すみれ（藤田保健衛生大学産婦人科／藤田保健衛生大学総合医科学研究分子遺伝学研究部門）
- 64

胎児共存胞状奇胎2症例に対する分子細胞遺伝学的解析  
上村のぞみ（医療センター・総合周産期母子医療センター母体胎児部門）

一般演題 12

12月17日(土) 14:12~14:54

第3会場 会議室6

生殖・女性医学・カウンセリング

座長：桑原 章（徳島大学産婦人科）

- |    |   |
|----|---|
| 65 | 46,X,idi (Y)(p11.3) 女性に対してカウンセリングに苦慮した1例<br>前田 和寿（四国こどもとおとなの医療センター遺伝医療センター） |
|----|---|
- |    |  |
|----|--|
| 66 | 当院における高齢女性の遺伝カウンセリング症例の特徴<br>町田真雄子（京野アートクリニック高輪） |
|----|--|
- |    |  |
|----|--|
| 67 | 当院での性分化疾患の管理の実例について<br>秋澤 叔香（東京女子医科大学産婦人科／東京女子医科大学附属遺伝子医療センター） |
|----|--|
- |    |  |
|----|--|
| 68 | 月経異常を呈するターナー症候群をはじめとしたX染色体異常症例のフォローについて<br>遠藤 俊明（エナレディースクリニック／札幌医科大学産婦人科／時計台病院産婦人科／斗南病院産婦人科） |
|----|--|
- |    |   |
|----|---|
| 69 | 性分化疾患の告知における遺伝カウンセリングチームの重要性について<br>三浦 史晴（岩手県立中央病院産婦人科／岩手医科大学臨床遺伝科） |
|----|---|
- |    |  |
|----|--|
| 70 | 時間をかけて方針を決定したY染色体成分陽性の有絨モザイク型ターナー症候群の1例<br>平川 豊文（福岡大学病院産婦人科） |
|----|--|

一般演題 13

12月17日(土) 14:54~15:36

第3会場 会議室6

生殖・PGD/PGS

座長：竹下 直樹（東邦大学医療センター佐倉病院産婦人科周産期センター）

- |    |   |
|----|---|
| 71 | 流産を繰り返す微細な均衡型挿入保因者の切断点解析<br>池田 敏郎（米盛病院産婦人科／鹿児島大学産婦人科） |
|----|---|
- |    |  |
|----|--|
| 72 | 初期胚および胚盤胞の栄養膜細胞を用いたPGDについて<br>田中 温（セントマザー産婦人科医院） |
|----|--|
- |    |  |
|----|--|
| 73 | 遺伝性疾患に対する着床前診断の承認に関して<br>中岡 義晴（IVF なんばクリニック） |
|----|--|
- |    |  |
|----|--|
| 74 | 着床前スクリーニングの結果に対する遺伝カウンセリングの一例<br>片桐由起子（東邦大学医学部産科婦人科学講座／東邦大学医療センター大森病院臨床遺伝診療室／東邦大学医療センター大森病院産婦人科） |
|----|--|

- 75 習慣流産の精査を契機に発見された染色体異常への遺伝カウンセリング  
佐々木元子（日本医科大学付属病院遺伝診療科）
- 76 incidental findings による均衡型転座保因者が着床前診断を希望した症例からの考察  
庵前美智子（三慧会 IVF なんばクリニック）

**一般演題 14** **12月17日（土） 15:36~16:18**

第3会場 会議室6

**生殖・基礎**

座長：堀江 昭史（京都大学医学部附属病院産科婦人科）

- 77 非モザイク型クラインフェルター症候群の発生機序および遺伝学的リスクについての検討  
田中 温（セントマザー産婦人科医院）
- 78 arrayCGH による染色体異数性解析と移植後妊娠成績からみた 1PN 由来胚盤胞移植の有用性  
泉 陽子（後藤レディースクリニック）
- 79 男性不妊における遺伝因子検査結果の後方視的検討  
阿部 歩美（東邦大学医療センター大森病院臨床遺伝診療室）
- 80 早発卵巣不全症例における染色体異常例の頻度と不妊治療成績に関する后方視的検討  
高橋 由妃（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）
- 81 不育症におけるプロテイン S 欠乏症とプロテイン S 徳島  
松川 泰（名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学）
- 82 分割停止胚に対する次世代シーケンサーによる染色体解析  
吉澤ひかり（藤田保健衛生大学医学部産婦人科学教室／藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門）

**一般演題 15** **12月17日（土） 13:30~14:12**

第4会場 スタジオ2

**腫瘍・基礎**

座長：平沢 晃（慶應義塾大学産婦人科）

- 83 上皮性卵巣癌におけるコピー数多型と腫瘍クローン数についての検討  
高矢 寿光（近畿大学医学部産科婦人科学教室）
- 84 次世代シーケンサーを用いた卵巣明細胞腺癌における遺伝子異常の探索  
渋谷 祐介（東北大学医学部医学系研究科産科学婦人科学分野）
- 85 子宮体癌 206 例の末梢血を用いた DNA ミスマッチ修復遺伝子のメチル化解析  
竹田 貴（慶應義塾大学産婦人科）

- 86

高頻度マイクロサテライト不安定性を示す子宮体癌症例の臨床病理学的特徴  
吉田 裕之 (埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科)
- 87

カルボニル還元酵素 DNA とデンドリマー複合体を用いた卵巣癌マウスモデルの遺伝子治療  
小林 麻美 (弘前大学医学部附属病院産婦人科)
- 88

子宮類内膜癌における microRNA 解析  
菅 安寿子 (岩手医科大学医学部産婦人科学講座)

<b>一般演題 16</b>	<b>12月17日(土) 14:12~14:47</b>
<b>第4会場 スタジオ2</b>	

**腫瘍・女性医学・症例報告**

**座長：植木 有紗 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター産婦人科・臨床遺伝センター)**

- 89

子宮体癌を合併した筋強直性ジストロフィーの1例  
鈴木 理絵 (国立病院機構横浜医療センター)
- 90

後腹膜悪性腫瘍が疑われた悪性高熱症素因者の1例  
坪内万祐子 (京都市立病院産婦人科)
- 91

子宮癌の精査中に大腸癌が発見され Lynch 症候群が疑われた1例  
竹森 聖 (杏林大学医学部産科婦人科)
- 92

婦人科治療方針決定に苦慮した筋強直性ジストロフィーならびに ATIII 欠損症合併の姉妹例  
後藤 真紀 (名古屋大学産婦人科)
- 93

Cowden 症候群と PTEN 変異  
覚道真理子 (兵庫医科大学病院臨床遺伝部/高井病院耳鼻咽喉科)

<b>一般演題 17</b>	<b>12月17日(土) 14:47~15:29</b>
<b>第4会場 スタジオ2</b>	

**腫瘍・カウンセリング**

**座長：四元 淳子 (お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系大学院遺伝カウンセリングコース)**

- 94

家族性腫瘍ハイリスク患者について、当院婦人科外来受診者と臨床遺伝部受診患者の意識の違い  
上田 真子 (兵庫医科大学産科婦人科/臨床遺伝部)
- 95

乳癌も卵巣癌も産婦人科で行える遺伝性乳癌卵巣癌症候群診療  
平野 浩紀 (高知赤十字病院産婦人科)



- 96

卵子凍結目的で紹介された乳がん患者における遺伝カウンセリング受診状況  
奥宮明日香（京都大学医学部附属病院婦人科学産科学教室）
- 97

当院 HBOC 診療における遺伝カウンセリングの課題  
山本弥寿子（広島大学産科婦人科）
- 98

当院における遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対する遺伝カウンセリングの現状と課題  
重富 洋志（奈良県立医科大学産科婦人科学教室）
- 99

当院における家族性腫瘍の遺伝カウンセリング実施状況  
山下 紗弥（大阪大学医学部附属病院産科婦人科）

<b>一般演題 18</b>	<b>12月17日（土） 15：29～16：04</b>
<b>第4会場 スタジオ2</b>	

**腫瘍・HBOC**

**座長：馬場 長（京都大学医学部附属病院産科婦人科）**

- 100

近畿大学における HBOC 診療の現状  
浮田真沙世（京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学／近畿大学産婦人科）
- 101

BRCA1/2 遺伝子変異保持者に対するリスク低減卵管卵巣摘出術実施例に関する検討  
吉村 拓馬（慶應義塾大学産婦人科学教室）
- 102

MLPA 検査にて遺伝性乳癌卵巣癌症候群と診断された卵巣癌の2症例  
三輪真唯子（埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科）
- 103

京大病院における遺伝性乳がん卵巣がん症候群に関する遺伝カウンセリング実施状況  
本田 明夏（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療倫理学・遺伝医療学分野）
- 104

血縁腫瘍歴聴取票を用いた婦人科関連遺伝性腫瘍のスクリーニングに関する検討  
平野 卓朗（慶應義塾大学産婦人科学教室）